

講演会「DV の視点からみる女性の貧困の現状」

日時：2011年11月26日（土）

午後1時30分～15時30分

会場：交流ラウンジ

女性の雇用において、男女平等に向けた法改正等は少しづつ整備されてきているが、まだまだ進展しているとは言い難い。DVと貧困の関係性について、ジャーナリストでもある和光大学教授の竹信三恵子氏を招き、DVの視点から女性の労働と貧困について現状の課題をとらえ、解決に向けて参加者と共に考える講演会を開催した。

講 師／竹信三恵子（和光大学現代社会学科教授）

参加人数／44人（女性42人、男性2人）

参加費／500円

平成23年度「女性に対する暴力をなくす運動」関連事業



ご意見ご感想をいただきました

- ・女性の貧困を社会全体の視点から説明いただき納得できた。それがDVの温床になっているという視点は改めて大切な鋭いご指摘だと思いました。女性支援のためには大切な視点と思いました。
- ・ひとりひとりが働いたら普通に暮らせる社会になってほしい。以前から竹信さんのお話は聞きたいと思っていたので、年末に近くなりやりたかったことが1つできました。ありがとうございました。
- ・大変充実した内容でした。自分で気づいたことを学び、行動につなげています。ありがとうございました。
- ・これほど女性の労働が安く扱われているとはおどろきました。イメージだけじゃなく、知る態度でないと、隠されてだまされてしまっているなと思いました。DV当事者ですが、いろんな人とつながって状況をよくしていけたらと改めて思いました。
- ・DV女性の支援を仕事にしている者です。女性の就労が本当に難しいと感じています。くたくたになっている女性がやはり男性の倍の時間働かなければならぬということがとても実感できました。



国の基本計画

[第4分野]雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

[第7分野]貧困など生活上の困難に直面する男女への支援 [第9分野]女性に対するあらゆる暴力の根絶

名古屋市の基本計画

[目標1] 男女の人権の尊重 ①配偶者からの暴力やセクシュアル・ハラスメント等の予防啓発・被害者支援

④様々な困難（貧困・ひとり親・障害・同和問題・外国籍等）を抱える男女への支援

[目標4]雇用等における男女平等

[目標5]家庭・地域における男女の自立と平等参画



名古屋市男女平等参画推進センター 指定管理者

N P O 法人参画 プラネット